

2018/10/08

15:00~19:00

@KIITO

(デザイン・クリエイティブセンター神戸)

カタルシクとアート

アイザック・ジュリアンと語る

—再考せよ、

この不確実な
グローバル社会における
アートと社会の関係とは？

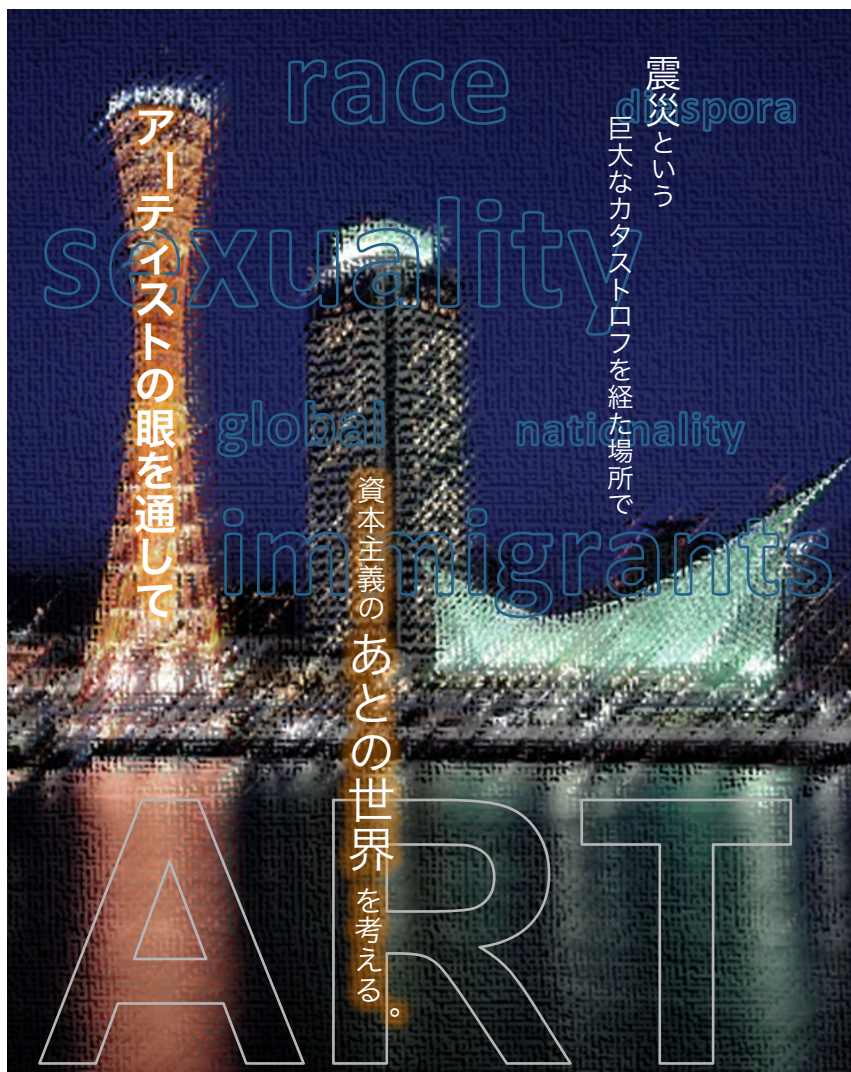
人種、セクシャリティ、ディアスポラの経験を独自に横断し
グローバル世界が直面する社会的危機を詩的に描き出す映像アーティスト

Young Soul Rebels でカンヌ映画祭批評家賞, Looking for Langston でベルリン国際映画祭テディ賞を受賞

Isaac Julien

(CBE, 1960~)

X 近藤健一 (森美術館キュレーター)
小笠原博毅 (神戸大学)



— Programme —

1. イントロダクション：近藤健一
2. 作品部分上映

① Ten Thousand Waves



② Kapital



3. アイザック・ジュリアン講演
(※通訳あり)
4. ディスカッション
司会：小笠原博毅
(※通訳あり)



カタストロフとアート アイザック・ジュリアンと語る

日時：2018年10月8日 (月・祝) 15:00~19:00
場所：KIITO (デザイン・クリエイティブセンター神戸)
2階 ステージフェリシモ

主催・問い合わせ：

神戸大学国際文化学研究推進センター研究プロジェクト

「ポストBrexitにおける黒人ディアスポラ・アートのグローバルな影響」

Mail: gicls-promis@research.kobe-u.ac.jp

協力：森美術館

事前予約不要・参加費無料

参考資料：近藤健一&小笠原博毅

「不可視な資本を視覚化する：アイザック・ジュリアンの最近の三部作について」

— 『年報カルチュラル・スタディーズ』第4号、40-53頁、2016年、航思社